

避難行動ガイド

！ 警戒レベル3高齢者等避難や警戒レベル4避難指示が出たら、危険な場所から避難しましょう。

！ 避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

！ 避難先は小中学校・集会所ではありません。
安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

◆避難行動判定フロー

普段から確認 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

●あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップ(※1)で
自分の家がどこにあるか確認し、
印をつけてみましょう。

※1 ハザードマップは浸水や土砂災害が発生する
おそれの高い区域を着色した地図です。着色
されていないところでも災害が起こる可能性
があります。

必ず取組みましょう！

家がある場所に色が
塗られていますか？

はい

災害の危険があるので、原則として(※2)
立退き避難(自宅の外に避難)が必要です。

例外

※2 浸水の危険があっても、次のような場合は**屋内安全確保**
(自宅に留まり安全確保すること)も可能です。

- ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い
区域の外側である
- ②浸水する深さよりも高いところにいる
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの
備えが十分にある

ご自身または一緒に避難する方は
避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

いいえ

色が塗られていなくても、周り
と比べて低い土地や崖のそばなど
にお住まいの方は、市区町村
からの避難情報を参考に、必要に
応じて避難してください。

安全な場所に住んでいて身を寄せられ
る親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられ
る親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

**警戒レベル3高齢者等
避難**が出たら、**安全な
親戚や知人宅に避難**
しましょう(日頃から相
談しておきましょう)。

**警戒レベル3高齢者
等避難**が出たら、市
区町村が指定してい
る避難場所等に避難
しましょう。

**警戒レベル4避難指
示**が出たら、**安全な親
戚や知人宅に避難**
しましょう(日頃から相
談しておきましょう)。

**警戒レベル4避難指
示**が出たら、市区町
村が指定している避
難場所等に避難しま
しょう。

出典：内閣府ホームページを加工して作成

大雨による洪水からの避難のポイント

- 1 原則は、浸水する前に避難することです。浸水してから避難はさまざまな危険があります。市区町村などからの情報に注意して早めの避難を心がけてください。特に、市区町村から避難指示が出された場合はためらわずに避難しましょう。市区町村からの情報がない場合でも、住んでいる場所の条件などによって危険となる場合がありますので、危険を感じたらすぐに避難します。とくに子どもやお年寄り、体の不自由な人がいる場合は早めに避難しておきます。
- 2 避難するときは、脱げにくく歩きやすいものをはいて外へ出ます。
- 3 氾濫した水の流れは、勢いが強いので水深が膝程度あると大人でも歩くのが困難になります。緊急安全確保として、高い堅牢な建物にとどまることも選択の一つです。氾濫した水は、茶色く濁っており、水路と道路の境や、ふたが空いているマンホールの穴は見えません。他のルートでの避難や自宅などの浸水しない場所に留まることを検討しましょう。
- 4 車での避難には、移動中に洪水等に見舞われることや、渋滞を発生させるおそれがあることを認識しましょう。
- 5 安全が確認されて、自宅に戻ってきたときは、家の安全を確認しましょう。特に断線した電線がないか、電線が家に触れていないか調べ、あればすぐに電力会社に通報します。近所にも知らせ、電線に触れないように注意しましょう。自分で勝手に始末をしてはいけません。

出典：消防庁ホームページ防災・危機管理eカレッジを加工して作成(<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/index2.html>)